

平成31年度 当初予算要求事業内容説明書

9款 1項 3目

第3章 心豊かな人づくり、まちづくり

基本施策7 心の教育の推進

施策4 一人一人のニーズにあった教育を推進します

【会計】一般会計

9款:教育費 1項:教育総務費 3目:教育研究指導費

事業	214	インクルーシブ教育システム推進事業
担当所属	教育センター	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,209千円	2,209千円				

【事業の概要】

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ことば等の発達に課題のある児童への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援の充実を図ります。 地域資源の組み合わせ(スクールクラスター)を活用し、発達に課題のある幼児児童生徒への支援について関係機関が連携し、継続的に行うことのできる体制づくりを行います。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ことば等の発達に課題のある児童の教育的ニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく適切な支援が受けられるようにします。 障害の有無にかかわらず、発達に課題のある幼児児童生徒について、地域の関係機関が連携して支援にあたることのできる体制を構築します。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ことば等の発達に課題のある児童への教育的効果を高めることができます。 発達に課題のある幼児児童生徒の育ちを支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えることができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
7 賃金		
学校支援コーディネーター賃金	2,176千円	学校支援コーディネーター賃金(2人分)
8 報償費		
講師謝礼	20千円	講演会講師料(2回分)
11 需用費		
消耗品費	13千円	検査用紙代
計	2,209千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成31年度計画値
ことばの発達に支援が必要な児童のための研修を実施した小学校の数	23校
ことばの発達に課題のある児童が通級することばの教室数	8教室
ライフサポートファイルを活用した学校数	34校 3園
ことばの発達に課題のある児童の通級指導教室への通級数	180人
関係者の連携のためのチーム支援会議開催回数	12回